

東京消防庁からのお知らせ

令和6年は、救急出場件数が935,162件を記録し、令和4年以降3年連続最多を更新しました。当庁では、救急需要に対する取り組みを下記のとおり実施し、各医療機関の皆様にも御協力をお願いしました。各医療機関の皆さまの御協力のおかげで、救急活動時間（1回平均）は、令和5年と比較して**約7分34秒短縮**し、現着時間（救急車が出場して現場に到着するまでの時間）も**約58秒短縮**しました。

令和6年中の取り組み

■ 非常用救急小隊の編成（救急車ひっ迫アラート発令時）

救急出場率が高まり、平時の救急隊のみでは対応困難となった場合に救急車ひっ迫アラートが発令され、非常用の救急車を追加編成して救急需要に対応しました。

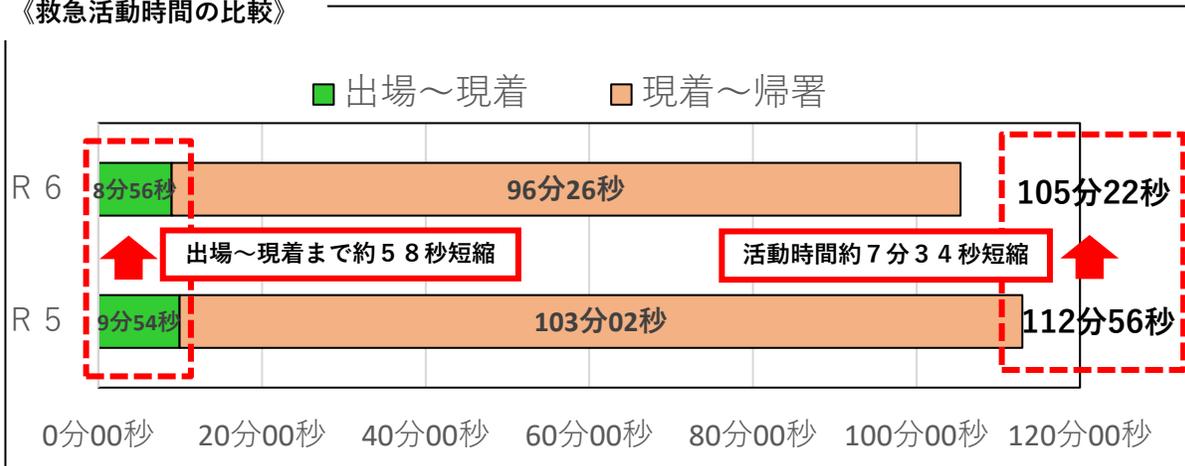
■ 病院滞在時間の調査

医療機関滞在時間の短縮に向け、救急隊に対して滞在理由の調査を行い、その実態を把握したうえで各医療機関に対して具体的な協力依頼を実施しました。

■ 病院選定における救急隊の支援について

引き取り手のない、一時的に收容した病院で、これまで救急隊が別の收容先の病院を探していましたが、119番指令室や各医療機関が自院で転送先を探すことにより、救急隊がすぐに出場することが可能となりました。

《救急活動時間の比較》



医療機関の皆様、都民の皆さまへ、お願いしていること

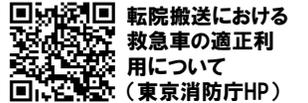
■ 適正な転院搬送

- ◆ 転院先の医療機関を予め確保し、受入れの了解を得てください。
- ◆ 緊急性の低い転院搬送に関しては、病院救急車や民間救急車等を活用してください。
- ◆ 転院搬送件数の増加とともに、低緊急・非緊急件数も増加しています。引き続き適正な転院搬送をお願いいたします。

■ 救急隊の早期引揚げ

- ◆ 病院滞在時間の短縮は、救急隊の早期引揚げに繋がります。
- ◆ 都民からの救急要請に対し迅速に対応できるよう、医師への早期引継ぎ体制の確保をお願いします。

■ 救急相談センター適正利用



病院？ 救急車？ 迷ったら…

東京消防庁救急相談センター

#7119

☎ **電話で相談**
東京消防庁救急相談センター

💻 **ネットでガイド**
東京版救急受診ガイド

こちらからもつながります

23区	03-3212-2323
多摩地区	042-521-2323

東京消防庁 東京都医師会 東京都保健医療局

東京消防庁 令和6年度中月別救急出場件数（速報値）

単位：件

月	R6.4月	R6.5月	R6.6月	R6	R7	R7	R7						
	R7.4月	R7.5月	R7.6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
救急 出場件数	70,728	74,003	75,365	91,623	82,560	74,277	73,912	73,454	88,902	83,111	71,703	78,113	
	70,216	70,240	76,180										

